

## 自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表		<b>データグラフ</b>	
	内容	項目数		平均
	「乳児保育」	15		4.93
	「3歳未満児保育」	26		4.88
	「3歳以上児保育」	0		#DIV/0!
	「教育保育の配慮事項」	16		4.56
	「健康・安全」	29		4.79
	「子育ての支援」	18		4.11
	「職員の資質向上」	9		4.11
	計	113		4.64
総合 評価	<p>・オンラインでの研修が定着したことで様々な研修に参加することができ、学びの多い1年となった。特にアトリエ研修を通して表情や仕草、つぶやきから子どもたちの思いや気付きを汲み取ることの重要性を再確し、日々の保育の中でより意識して関わる事ができた。</p> <p>・人権擁護に関する園内研修を定期的実施したことで、改めて日々の関わりについて振り返る機会となり、意識向上へと繋げることができた。</p> <p>・こども園へ日常的に園外散歩に出掛けたことで、園庭が無い環境の中でも十分に自然物との触れ合いの機会を持つことができた。また、年度末には2歳児がこども園で生活する機会を持つなど密に連携を図ったことで、移行後の生活に見通しを持つことができた。</p>			

## 事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	<p>－意欲ある職場環境－</p> <p>年2回（4月9月）職員面談を行うと共に、月1回のケース会議や環境・プロジェクト会議の中で意識的に語る場を増やしていく</p>
子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	<p>－虐待を発生させない体制作り－</p> <p>年2回、委員会の中でバイブルブックを活用した園内研修を行うとともに、4月と9月に人権擁護のチェックリストを活用した振り返りを行い、意識の改善・向上を図る</p>
保護者との「信頼」の構築	<p>－取り組みの発信－</p> <p>避難・防犯訓練の目的・実施内容を年5回（5月・9月・10月・12月・1月）、及び、リスク委員会の取り組みについても年1回以上に保護者に発信する</p>